

つうしん

コムハウス&ねくすと通信

2022年 4月 15日

コムハウス・ねくすと発行

No. 1145

春になり日差しの暖かさが気持ちいい日が続いておりますが、そんな中で私を悩ませているものが一つあります。それは花粉症です。振り返れば小学生の頃、自宅の杉の木の周りに、もやの様に漂っているのは何だろう?と近づいてしまったのが運の尽き。それ以降17年間悩まされております。花粉症は今や2人に1人が発症する国民病と言われており、こんなに苦しんでいる人が居るのになぜ杉の木を切るどころか毎年植えているのだろうと疑問に思い調べてみた所、伐採の許可が土地の持ち主から取れない+伐採後の処分の問題、災害・地球温暖化対策の為といった理由があるそうです。

今は花粉の少ない品種の杉が出来ており、その品種のみを植える事で将来的には花粉量が減っていくかもしれません、まだまだ先の話です。

どこかの企業がもっと効果のある薬やマスクを開発してくれることを切に願っております。(菊原)

